

年頭のごあいさつ



和歌山県知事
仁坂 吉伸

明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。去る11月25日の県知事選挙におきまして、多くの皆様の御支持を頂き、さらに4年、県政の舵取りをさせて頂くことになりました。これまでの政策を評価いただき、本当にありがたいことと思っております。

知事就任以来、ふるさと和歌山を元気にするため全力で取り組み、この12年間で和歌山の新たな発展のための条件がようやく整備されてきました。

例えば、高速道路網や県内幹線網、産業振興の制度、農林水産業の振興策などかなり整備されてきましたし、内外の観光客の増加なども顕著になりました。

しかしながら、和歌山県が抱えてきた問題が解決されたわけではありません。インフラ整備も完成しておりませんし、少子・高齢化対策を充実して人口減に歯止めをかけていく必要があります。困難な課題にも果敢に挑戦し続け、力強い発展を現実のものにしていかなければなりません。

めまぐるしく変化する時代の中、和歌山県発展の駆動力となるよう、これまで以上に全力を尽くす所存です。

本年5月には「平成」から新元号への改元が予定され、今まさに新しい時代が始まるうとしています。11月の「ねりんピック紀の国わかやま2019」では、年を重ねてもスポーツや文化を楽しむ素晴らしさを全国の方々と共有するとともに、「おもてなし」の心や素晴らしい自然など魅力に溢れた和歌山を全国に発信してまいります。

新しい一年が、県民の皆様にとって輝かしい年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



和歌山県議会議長
藤山 将材

あけましておめでとうございます。

県民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から議会活動に温かいご支援とご協力を賜り、県議会を代表して厚くお礼申し上げます。

さて本年は、元号が改まるとも厳かな年であり、この1月は「平成」最後の正月となります。

平成の時代、和歌山県では、世界リゾート博覧会、紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産登録、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の開催等全国規模の行事等により国内外に和歌山を大きくアピールすることができたのではないのでしょうか。

また県議会におきましても、防災対策や観光立県の推進、中小企業の振興、手話言語など、様々な政策条例の制定を進め、県政の課題解決と住みよい県づくりに邁進してまいりました。

一方で、忘れてならないのが自然災害であります。平成23年の紀伊半島大水害では県内でも大きな被害がありました。また昨年、連続で本県を襲った台風により農作物や商業施設への被害のみならず、長期に渡る停電など、改めて自然災害に対する備えの大切さを痛感させられました。私たち県議会は、地域の活性化はもちろんのこと、風水害や近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震への備えとして、防災対策や道路整備等を重点的に行い、県民の皆様の手と暮らしを守ることに取り組んでまいります。

結びに、この一年が県民の皆様にとってより良い年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。